

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	令和5年12月25日(月) 高松サンポート合同庁舎 13階 災害対策室					
委員 (部会委員 5名)	部会長	岡崎 美恵子 (公認会計士)				敬称略
	委員	潮 秀隆 (弁護士)				委員は50音順
	委員	梶谷 義雄 (香川大学教授)				
	委員	春日川 路子 (香川大学准教授)				
	委員	倉内 慎也 (愛媛大学准教授)				
審議 対象期間	令和5年4月1日 ~ 令和5年9月30日契約分					
審議案件	総件数 8件(工事 4件、建設コンサルタント業務等 3件、役務及び物品 1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額 (千円)	入札 者数	落札率 (%)
工 事	一般競争 (政府調達協 定適用外)	令和5年度 肱川玉川只越地区堤防外工事	(株)二神組	386,650	4	92.02
	一般競争 (政府調達協 定適用外)	令和5年度 松二街路樹維持工事	瀬戸内緑地 (株)	79,420	3	96.02
	一般競争 (政府調達協 定適用外)	令和5年度 嫁坂谷川樋門ゲート設備工事	(株)ミトモ製作 所	163,460	2	99.86
	随意契約	令和5-7年度 山鳥坂ダム仮排水トンネル工事	鹿島建設(株)	2,169,970	1	99.99
建設コン サルタン ト業務等	簡易公募型 競争入札	令和5年度 香川管内交通量観測業務	(株)四電技術コ ンサルタント	20,900	1	81.13
	簡易公募型 競争入札	令和5年度 長安ロダム周辺地質調査(その 1)業務	応用地質(株)	31,471	10	81.88
	簡易公募型 プロポーザル	令和5年度 物部川総合土砂管理検討業務	(株)建設技術研 究所	29,964	1	100.00
役 務 及び物品	一般競争入 札	ヘリコプター1式製造	三井物産エアロ スペース(株)	2,684,000	2	86.64
報告事項	① 指名停止等の運用状況 ② 談合情報等への対応状況 ③ 再度入札における一位不動状況 ④ 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ⑤ 一者応札の発生状況 ⑥ 不調・不落の発生状況 ⑦ 高落札率の発生状況(工事) ⑧ 四国地整及び事務所ごとの平均落札率					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備 考						

1. 抽出案件の審議概要

(1) 一般競争入札（政府調達協定適用外工事）

意見・質問	回 答
令和5年度 肱川玉川只越地区堤防外工事	
●参加者確保のための工夫について	
過去の工事実績がない者が、他の入札者と比べて大きく加算点が少なくなることは致し方ないが、過度な参入障壁とならないように工夫していることはあるか。	本工事の主工種は、プレキャスト擁壁の擁壁護岸工であるが、コンクリートブロックの法覆護岸工もあるため、求める同種工事を「プレキャスト擁壁工」又は「コンクリートブロック積工又はコンクリートブロック張工」と幅広に設定しており、有資格業者81者の内、同種工事の実績を持つ業者が74者存在していることを公告段階で確認している。
●入札内訳書について	
A社とC社は工事価格は同じだが、内訳は違っている。こういったことは、よくあるのか。	工事価格は施工に必要な人件費と各資機材の価格及び各種経費の積み上げにより算定される。積算に必要な施工歩掛や各種単価等は全て公表されており、積算能力の高い会社であれば予定価格や調査基準価格もほぼ推測可能であることから、複数の者の応札価格が同じになることもあり得ると考えている。
令和5年度 松二街路樹維持工事	
●参加者確保のための工夫について	
過去の工事実績がない者が、他の入札者と比べて大きく加算点が少なくなることは致し方ないが、過度な参入障壁とならないように工夫していることはあるか。	同種工事の設定については、直轄国道以外の道路の実績を求めるなど、幅広い実績を求めることで過去の工事実績がない企業でも参入しやすい参加要件としている。 一方、剪定作業において交通規制が伴うことから、交通規制の実績を有し、かつ植栽工事等の実績等を有する等、安全性及び品質確保の観点から一定の条件を備えた参加者を求めているため、これ以上の参加要件の緩和は現在のところ考えていない。 有資格業者34社の内、同種工事の実績を持つ業者が10社ある。
令和5年度 嫁坂谷川樋門ゲート設備工事	
●参加資格について	
参加資格を満たさなかった者の理由は如何。	本件の参加資格要件として、『平成20年度以降に元請けとして河川用もしくはダム用鋼製プレートガーダ構造ゲート設備の新設、更新、改造または修繕工事の施工した実績』を求めているが、提出された技術資料を確認したところ『河川用』または『ダム用』のゲート設備であることが確認できなかったことから欠格としたものである。

<p>過去15年間の同種の施工実績があることが要件になっており、これを満たさないため資格なしとなっているが、こういう形だと新規参入が非常に難しい。新規参入者がステップアップして参入できるような、やり方はあるのか。</p>	<p>本件では、本工事と同種である河川用ゲートの実績に加え、ダム用ゲートの実績も認めることとしている。さらに新設工事の実績に加え、更新、改造、修繕にかかる工事の実績として認めることで参加資格要件の緩和に努めている。</p> <p>また、一般土木工事等についても工事の内容を考慮した上で、自治体発注工事の実績を直轄と同等に評価する工事や直轄又は県の実績を有していない者もチャレンジできる工事を設定するなど、新規参入を促すための試行にも取り組んでいる。</p>
<p>入札者に、同種工事の基準をどのように示しているのか。</p>	<p>入札公告の競争参加資格で、河川用又はダム用が同種工事であると明記している。</p>

(2) 随意契約

意見・質問	回答
<p>令和5-7年度 山鳥坂ダム仮排水トンネル工事</p>	
<p>● 予定価格の妥当性について</p>	
<p>随意契約の予定価格の妥当性についてどのように確認しているのか。</p>	<p>価格交渉時に見積条件の交渉を行い、</p> <p>① 歩掛については、原則、標準歩掛を使用し、優先交渉権者独自のものは優先交渉権者の見積りを採用し、優先交渉権者との価格交渉及びこれまでの類似実績等を参考に妥当性を確認した。</p> <p>② 設計単価（労務単価、資材単価、機械経費）については、原則、四国地方整備局の統一単価及び市場単価を使用し、優先交渉権者との価格交渉及びこれまでの類似実績等を参考に妥当性を確認した。</p>
<p>● 評価結果について</p>	
<p>評価結果の妥当性は、どのように検証しているのか。</p>	<p>技術提案・交渉方式（ECI）の実施にあたっては、手続きの透明性・公平性を確保するため、四国地方整備局総合評価委員会に複数の有識者からなる専門部会を設置、手続きの段階ごとに専門部会の確認を得ながら手続きを進めている。また、専門部会の審議を含め、契約者の選定にかかる一連の経緯については、当該工事の契約後、速やかに四国地方整備局のWEBサイトにおいて公表している。</p>

(3) 簡易公募型競争入札（建設コンサルタント業務等）

意見・質問	回答
<p>令和5年度 香川管内交通量観測業務</p>	
<p>● 一者応札について</p>	
<p>一者応札となった理由をどのように分析しているのか。</p>	<p>1者応札となった理由については、</p> <p>① 豊中観音寺拡幅の開通が4月末であり、契約後直ちに調査を実施する必要があった業務であること</p> <p>② 技術者や現地で交通量調査を実施する作業員の人手不足などが考えられる。</p> <p>なお、入札説明書をダウンロードした者のうち、同種業務・類似業務の実績があり、県内に営業拠点をもつ3者にヒアリングを行ったところ、『対応できる技術者がいなかったため』との回答であった。</p>

この業務は長期的に考えると、一者応札の事例が増えていくような感じがある。交通量調査は自動化が図られているのに対し、渋滞調査は結構人手がかかる部分がある。そういったことも、例えばカメラをつけて画像判定するとか、少しずつ工夫して頂きたい。	調査手法や発注時期、この業務の改善点について、ご意見をいただいたところを工夫していきたい。
測量関係が全体的に入札者が多い中、今回、一者応札だったことへの説明で、時期的にタイトだったということについて、契約締結時期を早くするなどの対策はどうだったのか。	
令和5年度 長安口ダム周辺地質調査（その1）業務	
意見・質問	回 答
特になし	

(4) 簡易公募型プロポーザル（建設コンサルタント業務等）

意見・質問	回 答
令和5年度 物部川総合土砂管理検討業務	
●一者応札について	
一者応札となった理由をどのように分析しているのか。	ダウンロード者数は33者あったが、時期的に技術者が少なかったことや、過年度に実施している治水計画や山地、河道及び海岸調査の結果等を踏まえたうえで実施する業務であり、総合的に検討した上で敬遠したと推察される。
全般についての資料3（入札者が一者の発生状況）で土木関係建設コンサルタント業務の一者応札が多かった。本件も一者だが、土木関係建設コンサルタント業務で一者になりがちな要因は何か。	土木関係建設コンサルタント業務が全般的に一者応札が多いということはないと考えている。なお、簡易公募型競争入札方式では、業務の特殊性よりプロポーザル方式のほうが高い割合となっている。

(5) 一般競争入札（役務及び物品）

意見・質問	回 答
ヘリコプター1式製造	
●愛らんど号の稼働状況、更新経緯等について	
平成18年9月就航から現時点までの愛らんど号の稼働状況と更新を判断した経緯、愛らんど号は今後どのようにする予定なのか。	就航からの飛行時間は、月平均で約11時間（延べ2326時間/18年）である。耐用年数は5年（減価償却資産の耐用年数表より）だが、故障の発生度合いや累計修繕費、各地整での更新年数（約20年程度）など総合的に判断し更新している。また、新機体が納入され就航後に「愛らんど号」は売却の予定である。

2. 指名停止等の運用状況

意見・質問	回答
建設業法違反行為が指名停止6週間、工事関係者事故が指名停止2週間と死者が出ている方が短いのはなぜなのか、どのような考え方で指名停止の期間を判断しているのか。	<p>・公共工事の契約の相手方となる有資格業者の大半は建設業法に基づく営業の許可を受けた建設業者である。</p> <p>同法は建設業者が何よりも遵守すべき法令の一つである。公共工事の発注者としても、工事の適切な施工、品質の確保という観点からすれば、有資格業者が建設業者として同法を遵守しているかどうかは極めて重大な関心事項である。このため、有資格業者に同法違反行為があり、契約の相手方として不適切であると認められる場合には、他の法令に違反した場合よりも重い基準により指名停止措置を講じることとされている。</p> <p>・なお、指名停止措置は、国土交通本省等が作成した指名停止措置要領に基づき、国土交通省内で統一した運用を行っている。</p>

3. 談合情報等への対応状況

意見・質問	回答
特になし	

4. 再度入札における一位不動状況（「価格が最低である入札参加者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況）

意見・質問	回答
特になし	

5. 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況

意見・質問	回答
特になし	

6. 一者応札の発生状況、入札者及び技術（企画）提案書提出者が1者の発生状況

意見・質問	回答
一者応札が増えている。特に維持修繕工事については、企業の地域貢献の意識によって支えられている面があるという説明があったので、今後の動きには注視されたい。	<p>維持修繕工事は、道路、河川等のインフラの機能維持に必要な作業を年間を通じて担うことに加え、自然災害や各種事故発生時の緊急出動など、管理者の手足となり休日夜間を問わず出動体制を求められる工事であり、企業・技術者が減少する中、維持修繕工事の特殊性を勘案すると、地域のインフラの担い手としての責任感で参加・受注されているのが実態と考えている。</p> <p>このことから長期かつ安定的にインフラの機能維持を図るためには、業界の魅力を高め、建設業界に入ってくる技術者・技能者を増やしていく取組が極めて重要であり、発注者と業界が協力して様々なチャンネルを活用し、DXを活用した最新の建設業について理解を促す取組を進めている。また、当面の取組みとして、発注規模の拡大や見積りの積極採用、作業実態を踏まえたきめ細かな清算に努めるとともに、維持修繕工事の実績により培われたマネジメント力を評価し、一般土木工事の総合評価で加点する試行も行っている。担い手確保にむけて引き続き取組を進めてまいりたい。</p>

7. 不調・不落の発生状況

意見・質問	回 答
特になし	

8. 高落札率の発生状況（工事）

意見・質問	回 答
高落札率が増えている原因として、昨今の価格の高騰に価格改定が追いついていないということだが、これについては落札率、低入札の運用に影響が出てくると思われるので、今後も十分な工夫を続けられたい。	<p>予定価格算定のベースとなる人件費や機械経費、各種管理経費等は全て市場での取引価格や実績歩掛等の調査結果をもとに算定していることから、長い目で見ると応札価格も予定価格に概ね近似するものと考えており、応札者は総合評価落札方式の中でわずかな価格代を調整して競争していると考えている。</p> <p>そのような中での価格高騰であり、特に資機材関係は刻々と価格が変化している不確実な状況も踏まえ、入札の段階でできるだけ高い価格で一定の利益を確保しようという応札行動が背景にあるのではないかと考えている。</p> <p>なお、契約後の価格上昇については、上昇した単価に合わせて契約金額を変更する対応を行なっている。</p>

9. 四国地整及び事務所ごとの平均落札率

意見・質問	回 答
特になし	

10. まとめ

<p>今回審議したが、適切に公正性、透明性を持った入札がされていると認識している。しかし、建設業を取り巻く環境は厳しく入札参加者数は減少傾向にある。一者応札も高い割合で継続していることから現在実施中の建設キャリアアップシステムや働き方改革等の様々な取組を継続して頂きたい。建設業に限らず全ての業種で人手不足が深刻な状況にあるので、担い手確保に加え、少ない人でもシステムが回るような生産性向上や事務手続きの効率化を進めて頂きたい。今回、それらに関する様々な取組みとして、次世代を担う小中学生やその保護者を対象としたDX現場の見学会開催や建設業界と協力してYouTube等を活用した建設業の魅力発信の取組に関する説明があり大変有意義だった。今後もそのような工夫を期待している。</p>
--